

古代ローマ帝国の城郭都市 ロンドン

37回 竹本 修文

1. はじめに ——現在のロンドンの地図（出典：地球の歩き方）に、ローマ時代の城郭都市ロンドンの位置を朱記する。

金融街があるシティー（The City of London）と、ほぼ重なる。現在の（いわゆる）ロンドン、即ち Greater London には、The Cityと32の区（metropolitan borough パラ）がある。この区は行政単位としての municipal borough であり、アメリカの city に相当する。32の区の中の一つに City of Westminster がある。歴史的に City の定義が「カテドラル/大聖堂、即ちカトリックの司教座及び英国国教アングリカンの主教座聖堂」がある行政単位」だった理由で、The City of London にはセント・ポール大聖堂があり、City of Westminster にはローマカトリックのイングランドとウェールズにおける本山であるウエストミンスター大聖堂（王室の有名なウエストミンスター寺院ではない）があるからだが、行政的には他の31区と同じ borough と同じである。それでは、いわゆるロンドンの Greater London とは何か？それは市ではなく、州でもなく、儀礼的な州 Ceremonial County と呼ばれる。日本の市役所に相当する行政の本部がある建物は、英語の Wikipedia には City Hall, London 但し、説明書きには、Type: Town Hall, 日本語版にはシテイ・ホール（ロンドン）、地球の歩き方には「市役所 County Hall」と書いてあるが、一般のイギリス人にも説明できる人は少ない。ロンドンの説明もイギリスの説明も分かりにくい。



2. ローマのガリア征服

共和政ローマ時代の領土 出典「世界の歴史③ 創元社」

ローマは BC753 年に神話レベルで王国を建設。エトルリア人やローマ人が王に就いたが、王の独裁を嫌って、BC509 年に王政を廃止し、共和政になった。

最後の執政官がユリウス・カエサルで、アルプスの北側にいたギリシア語でケルト人、ローマのラテン語でガリア人と呼ばれていた蛮族が住むガリア、現在のフランスを征服した。カエサルはガリア統治の為に、ブリタニア（イギリス）の鉱物資源と奴隷が欲しかったし、ガリアの味方をするブリトン人を征服したかった。



3. ブリタニアへ侵攻

カエサルは、BC55 年と翌 BC54 年にガリアを支援するブリタニアに圧力をかけてきた。最初は、数千人の兵と共にドーヴァー近郊に上陸したが、ブリトン人の戦車戦法に手こずり引き上げた。二度目は 2000 の騎兵と 2 万人の歩兵を率いてテムズ川を現在ロンドンがあるところまで進出した。カエサルの「ガリア戦記」には、島民は髪を長く伸ばして体に入れ墨を施し、一人の妻を分かち合う「一妻多夫制」とっており、粗末な掘立小屋に住んでいた、と記している。



上図は BC27 年、初代の皇帝アウグストゥスの時代のガリアとブリタニア周辺。
(出典：ローマ皇帝歴代誌、創元社)

4. ローマ帝国のブリタニア征服



BC27 年に共和政から帝政になって 70 年後の AD43 年、クラウディウス帝が 4~5 万人の大軍を率いて、もう一度侵攻して、ローマの重装歩兵でブリトン人の戦車戦法に勝利する。左図、「ブリテン島の征服」を参照。
(出典：ローマ皇帝歴代誌、創元社)

テムズ川では、干満の差が大きい大西洋から遡り、干潮時にも大西洋から航行できる地点付近の左岸に拠点を設定した。そこは、右岸との間に橋を架けられる所で、ラテン語で**ロンディニウム**と命名した、**ロンドンの発祥**である。軍事拠点ではなくて、物流拠点だった。ブリトン人は熾烈に抵抗したが、進んだ武器を装備し、規律が高いローマ軍にかなわなかった。AD60 年に東南部の**ブーディッカ女王**が立ち上がった。ローマの歴史家の記録によれば、七万人以上のローマ人と、ローマ側についた先住民を殺して氣勢をあげた。邪馬台国の**卑弥呼**のようなものだったかもしれない。最後に彼女は鎮圧され自殺した。

写真は**ブーディッカ女王**の銅像@ウエストミンスター橋の左岸側



5. ローマ人のブリタニア Roman Britain

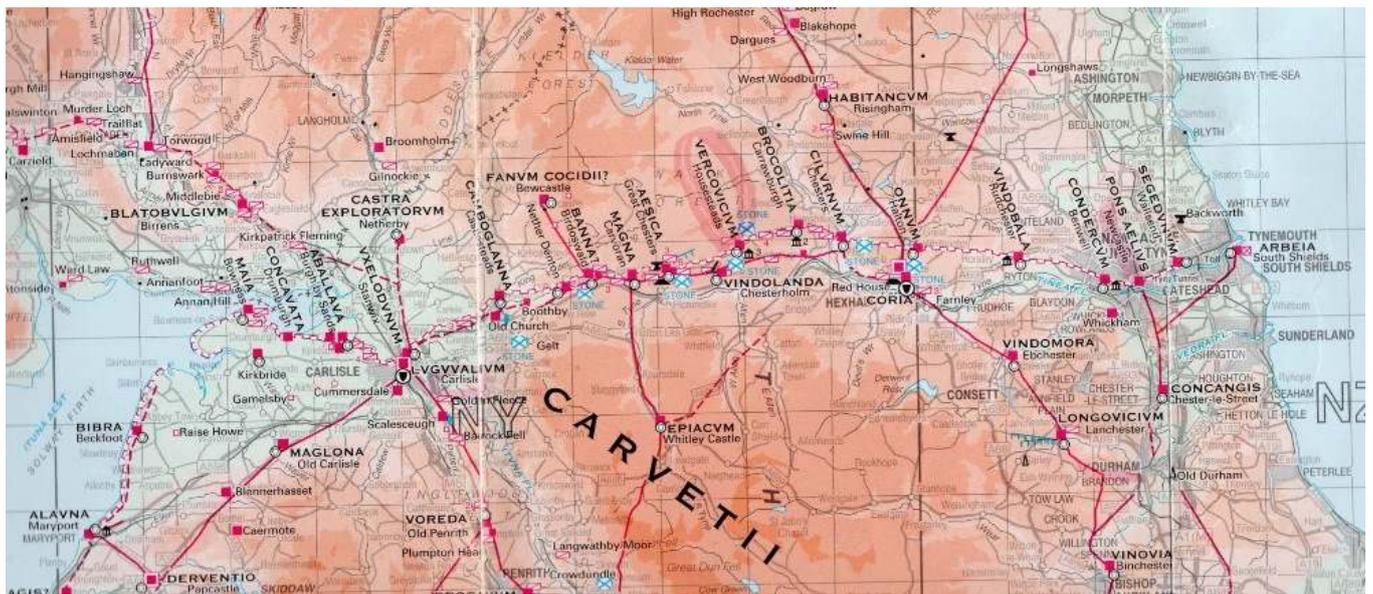
ロンドンを中心に全島に扇状に伸びる四本の幹線道路を建設し、その全長は 11,900 km に達した。幹線道路から 20 余りの都市、百以上ある町を結んでいた。都市には公衆浴場や劇場、多神教ローマの神殿があり、床下暖房も行われていた。スコットランドのピクト人は狂暴で、ローマ人も服従させることができなかった。AD122 年、ハドリアヌス帝がブリテン島を訪れ、ピクト人から属領を守るために、ブリテン島を横断する 120 km に亘る壁「ハドリアヌスの長城」を築いた。



6. ハドリアヌスの長城 Hadrian's Wall (ヘイドリアンズ・ウォール)

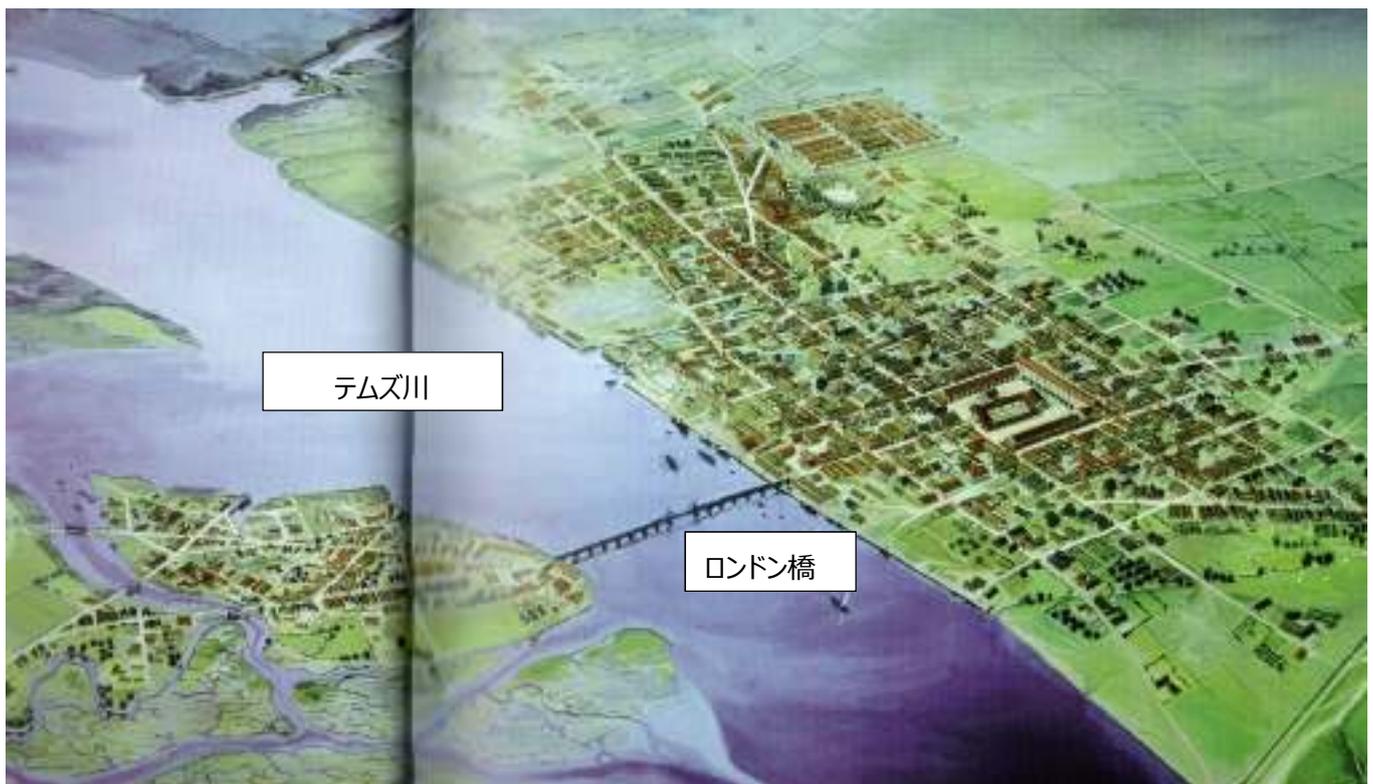


現在のハドリアヌスの長城 と ローマ兵 (再現)



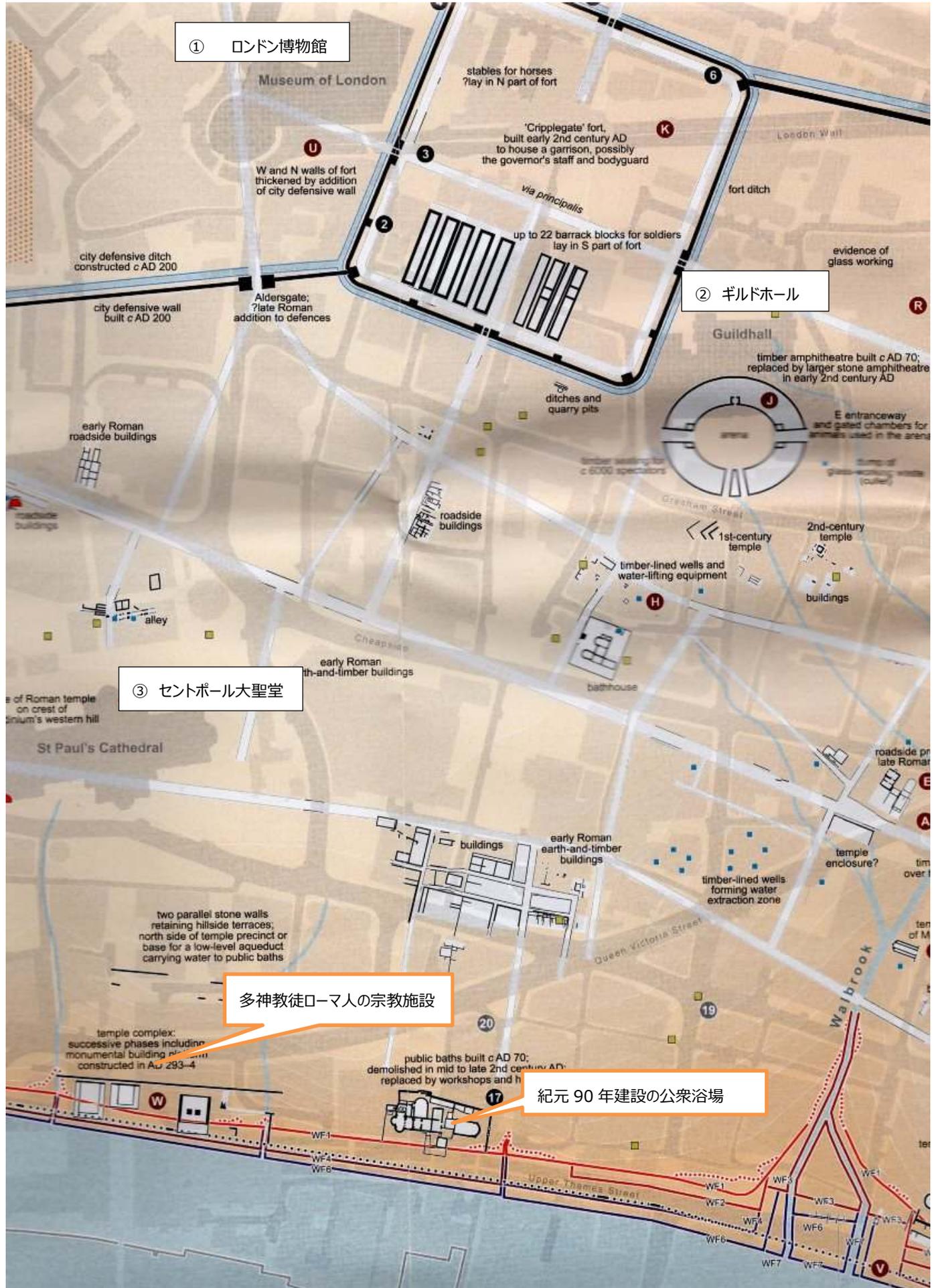
7. ロンドン London(ラテン語 Londinium)

ローマ人は満潮時に大西洋から航行できるロンドンの中継地にえらび、ドーヴァーに灯台を建設して入り口を示した



8. Roman London 城壁のかけらを探して

- ① 旧城壁外に沿って作られた博物館、 ② City の中心庁舎ギルドホール、 ③ セント・ポール大聖堂の間を歩く





兵舎西側の城壁を支える塔の一部



城壁北側の堀が現在まで残っており戦災復興時に建設した公共住宅群の公園になっている



ロンドン塔北側の城壁の一部 @Tower Hill 駅近く

歴史メモ

- ① 43 年、**皇帝クラウディウス軍**、ケント州に上陸、英・東南部を平定し、47 年にウエールズに侵攻開始。
- ② 50 年ごろ、Londinium(London) を建設
- ③ 61 年、**女王ボウディカ**、ローマ軍に反乱
- ④ 122 年、皇帝ハドリアヌス、ハドリアヌスの長城を建設
- ⑤ <235~285 ローマ帝国無政府状態>
- ⑥ <284 年、皇帝ディオクレチアヌス即位~311 年>
- ⑦ ローマ軍の西の首都はドイツの**トリーア**、
- ⑧ ローマ軍のブリタニアの首都は Eboracum **ヨーク**
- ⑨ 306 年、**コンスタンチヌス**がヨークに滞在中に、西の正帝に即位、ミラノに向かう
- ⑩ 407 年、ローマ軍が**ブリタニア**から撤退開始

9. 皇帝ディオクレチアヌスの**四分割統治**、12 管区 ローマ軍がブリタニアから引き上げる当時のローマ帝国地図

